

那須平成の森だより

自分だけの自然に出会う

第17回 「那須平成の森基金の歩み」

那須平成の森では、平成23年の開園当初に「那須平成の森基金」を設立し、サポーター会員を募ってきました。この基金は、那須平成の森における自然体験や調査研究、自然環境の管理や人材の育成活動を支援するための基金です。



▶基金から活動費補助を受けプログラムに参加した塩谷町立船生小学校の子どもたち

設立から10年を迎えた現在、これまでに500万円を超える寄付をいただき、8件の自然体験活動を実施し、2件の調査研究支援を行いました。

昨年から、外来植物対策としての土砂払いマットの設置や、初めて那須平成の森で有料プログラムを利用する小学校に活動費補助等を行っています。また、毎年サポーター会員向けに作製しているピンバッジも好評で、サポーター会員ではない方にも、寄付金をいただく形でお分けしています。

今年は開園10周年を記念して、那須平成の森の10年間に渡るさまざまなガイドウォークや団体向けプログラムの様子、四季折々の自然や生き物の写真をまとめた写真集を作成しました。



▶那須平成の森10周年写真集の表紙

写真集の発刊を記念して、那須塩原市図書館みるる、那



須町役場ロビー、新宿御苑インフォメーションセンター、那須高原友愛の森、那須高原ビクターセンターで写真展を順次開催中です。(すでに終了している場所もあります)
<http://nasuhei-j.jp/archive/s/4086>



サポーター会員向けのピンバッジ



近くにお立ち寄りの際には、ぜひご覧ください。
 那須平成の森フィールドセンター
 インタープリター 若林千賀子



東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせて、今年「海の日」が7月22日、「スポーツの日」が7月23日、「山の日」が8月8日に移動した。連休が増えうれしい反面、手持ちのカレンダーが移動後の表記になっておらず、間違えないようにと気をつけた▼国民の祝日は、年のはじめを祝う「元日」

から始まり、全部で16日。11月23日の勤労感謝の日がその年の最後の国民の祝日となる▼勤労感謝というと、お勤め＝社会的な響きがあるが、もともとは稲の収穫に感謝する「新嘗祭」に由来するそうだ。新嘗とは、その年に初めて収穫された穀物を食べるという意味。新米が採れたらたらずまず神様にお供えして感謝し、そのあと人が口にしたい。明治6年に11月23日に固定され、昭和23年に農業に限らずすべて

の生産を祝い、働く人すべてを尊び感謝する日になった▼今は新米の回りも早く、この日まですでに新米を口にしないということはないが、感謝を伝えるうえで大切な日であることにはかわりない▼新型コロナウイルスの影響で、収穫に感謝する地域のお祭りやイベントの縮小や中止が続く秋となつてしまったが、勤労感謝の日は、身近な人たちに「いつもありがとう」「お疲れさま」と伝え合う日になりたい。

こんにちは **赤ちゃん**

令和2年9月11日生

父 剛さん 母 真実さん

たくみ **大河原 工くん(よささ)**

工くんは…
 食べるのが大好きな、いつも「平常心」な男の子です

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。
 詳しくは総務課広報広聴係(☎72-6901)まで。

町の世帯と人口 (10月1日現在・住民基本台帳) ()の数字は前月比

●世帯数	10,517世帯 (-2)	出生	11人 (+ 3)
●人口	24,607人 (-27)	死亡	20人 (- 7)
	男 12,247人 (-4)	転入	54人 (+ 5)
	女 12,360人 (-23)	転出	72人 (- 1)
		その他	7人